

活動実績報告書

平成 26 年 4 月 16 日

登録番号 20130610

氏 名 岡 雅文

1. 活動状況

平成 24 年 4 月 ~ 平成 25 年 3 月

■ 活動の概要

平成 24 年度に、関係者と連携しながら、山梨県峡南地域管内5町(市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町)における森林整備の実行推進に取り組んだ。

■ 当該活動を上げた理由

補助金制度や予算などを活用しながら、適切な森林整備の実行推進に取り組んだ当該業務は、地域の森林構想を実現するための活動であり、森林総合監理士の果たす役割の一つと考えるため。

■ 当該活動における、あなたの立場と役割

県の造林補助金の執行業務担当者として、補助金実務の周知を図りながら、森林組合、町、林業普及指導員(准フォレスター)の3者と連携し、市町村森林整備計画に沿った計画的な施業の実行を推進する。施業実施後は、補助金検査を通じて現地における技術的な指導を行う。

■ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

【問題点と課題】

- 毎年の制度改正が続き、森林計画制度及び造林補助制度が複雑なこともあり、現場の理解が遅れて事業の実施に影響を与えていた。
- 集約化を目指す施業区域において、不在村地主や補助金受給に伴う制約を嫌う森林所有者もおり、施業の受託が難航する状況が見られた。
- 市町村森林整備計画は策定されたが、森林経営計画の作成が進まない中で、当面の施業を進めなければならない状況だった。

【具体的対応策】

制度への不理解の解消及び施業集約化の推進に向けての体制を構築するため、林業普及指導員(准フォレスター)と連携しながら、町ごとに森林組合と町役場担当者を参加者とし、次の内容を打ち合わせた。

- 森林経営計画の認定基準と計画の作成方法についての情報提供
 - 補助金採択要件の周知
 - GIS を利用して補助可能な樹種・林齢の林分を参考図示し、組合と町へ情報提供
 - 森林組合における当年度と来年度の予定事業量とその候補箇所を確認し、「計画期間内において間伐を実施する必要があると認められる森林」の重点的施業を指導
 - 森林整備を実行していく上での課題を共有
- 打ち合わせの後には、森林組合及び町担当者と共に未受託の事業候補地を踏査し、制度的に補助事業が可能か、技術的にどのような施業が適切か、指導を行った。

■ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

活動により、森林経営計画の作成促進と造林補助金等の活用による適切な森林整備の推進が図られたが、不在村地主や補助金受給に伴う制約を嫌う森林所有者の不理解、現地境界の不明確等の問題が課題として残された。

今後は、関係者の協力体制を保ちながら、地元説明会の実施や地道な境界確定作業に取り組む必要がある。

2. 研修の受講状況

研修名 日本型フォスター育成研修(准フォレスター研修)
(実施主体) 林野庁 平成24年7, 9月

研修名 日本型フォスター育成研修(通信研修)
(実施主体) 林野庁 平成24年2月

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

■ 各種研修等の企画、運営、及び指導者としての参加

森林整備加速化・林業再生事業のうち地域における森林施業プランナーの緊急育成支援事業(実施期間:平成25年8月5日~平成26年3月25日、事業主体:山梨県森林組合連合会)において、県内森林施業プランナー所属事業体への個別指導に従事した。